

2025年8月29日

ポジティブ・インパクト・ファイナンスのモニタリングレポートの開示について

株式会社東和銀行（頭取 江原 洋 以下、「当行」）は、2024年4月からポジティブ・インパクト・ファイナンスの取り扱いを開始し、2025年7月末時点で7社のお客さまにご利用いただいております。そのうち、1社のお客さまに対しモニタリングを実施いたしました。

ポジティブ・インパクト金融原則では、透明性の確保と情報開示が求められており、そのモニタリング結果について開示いたします。

当行はこれからも、お客さまの多様化する資金調達ニーズに応え、SDGsの趣旨に賛同するお客さまとともに、持続可能な社会づくりを目指してまいります。

記

1. モニタリング実施先

会社名	MIRARTH エナジーソリューションズ株式会社
当初評価日	2024年6月28日
モニタリング基準日	2025年3月末
融資及びモニタリング期間	5年間

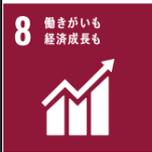
2. KPI 一覧及び結果

(1) 脱炭素社会への貢献

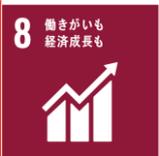
インパクトの種類	社会・経済・環境的側面においてポジティブインパクトを増大
インパクトカテゴリ	「エネルギー」「インフラ」「気候の安定性」
関連するSDGs	 
内容・対応方針	太陽光発電所を中心とする再生可能エネルギー事業を通じた温室効果ガス排出量の削減、及び安定的な電力供給の実現を図る。
目標と KPI	再生可能エネルギーによる発電所の開発及び取得により、再生可能エネルギー発電施設の累計出力(KW)において、2024年度より毎年15MW増加させ、2028年度までの累計増加出力を75MWとする。 (過去実績 2022年度：16.44MW、2023年度：11.44MW)
実績	目標達成：2024年度実績195.7MW 2025年3月に同)グリーンエネルギー(MIRARTHホールディングスより承継)の

	取得により目標を大きく上回った。
その他	MIRARTH グループとして 2030 年までに 420MW (太陽光換算) の累計出力を目指すことを掲げており、継続して発電施設累計出力を高めるため、太陽光発電施設用地及びセカンダリー案件を探索している。

(2) カンボジアにおける雇用の創出

インパクトの種類	社会的側面においてポジティブインパクトを増大
インパクトカテゴリ	「雇用」
関連する SDGs	
内容・対応方針	カシューナッツ加工事業におけるカンボジア産カシューナッツ加工品の販路拡大及び販売、バイオマス発電燃料の開発を通じて、MIRARTH Agri Tech Co., Ltd (カンボジア現地法人) において地元雇用を創出する。
目標と K P I	MIRARTH Agri Tech Co., Ltd における従業員数を 2029 年度までに 50 名にする。 (過去実績 2023 年度 : 0 名、2024 年度 : 35 名、)
実績	目標達成 : 2025 年 3 月末時点 : 67 名

(3) 女性の活躍の場を拓ける取り組み

インパクトの種類	社会的側面においてポジティブインパクトを増大
インパクトカテゴリ	「雇用」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	「ベビーシッター利用割引制度」や 2024 年度から導入した「フレックスタイム制」の活用を含め多様な人材が生き生きと働き続けられる環境を提供する。
目標と K P I	出産・育児休暇後の復職を希望する社員の復職率を 100%にする (毎年)。 (参考 : 過去実績 (グループ会社全体の出産・育児休暇の復職率) 2023 年度 : 88.9%)
実績	目標達成 : 復職率 : 100% (対象者 1 名 → 2024 年 7 月から育休取得、2025 年 7 月 1 日に復職)。

以上